

管理の目標

指定期間	令和4年度から令和13年度まで	施設名	北海道立北方四島交流センター
------	-----------------	-----	----------------

1 使命・目的

(1) 北方領土問題についての世論の啓発

- ・ 歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の北方四島に居住するロシア連邦国民との交流の促進等の業務

を適切かつ効率的に実施し、北方領土の早期返還に資する。

(2) 地域住民が施設の実施する事業等に参加できる機会を拡大し、事業を通じて地域との協働を推進する。

2 達成目標及び業績指標

(1) 利用促進

達成目標及び業績指標	基準年	指 標 値											達成度評価		評価比率
	※	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	実績	対比		
年間入館者数 40,500人	36837人	37200人	37500人	37800人	38100人	38400人	38800人	39200人	39600人	40000人	40500人		10/10	3/10	

※基準年 第3期までの平均値 (H18～H30)

(2) 北方領土啓発事業の推進

達成目標及び業績指標	基準年	指 標 値											達成度評価		評価比率
	※	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	実績	対比		
若年層を対象とした北方領土啓発事業の実施 30回	21回	23回	25回	25回	25回	25回	25回	25回	30回	30回	30回	30回	回	10/10	2/10

※基準年 第3期までの平均値 (H18～H30)

(3) 住民との協働推進

達成目標及び業績指標	基準年	指 標 値											達成度評価		評価比率
	※	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	実績	対比		
地域住民が企画・立案に参画する事業の実施 12回	6回	7回	8回	8回	9回	9回	10回	10回	11回	11回	12回	回	10/10	2/10	

※基準年 第3期までの平均値 (H18～H30)

(4) 利用者満足度の向上

達成目標及び業績指標	基準年	指 標 値											達成度評価		評価比率
	H26～H30平均	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	実績	対比		
利用者満足度の向上 満足度調査により総合的に満足と回答した利用者の割合を80%以上とすること。	91%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	%	10/10	3/10

達成度の評価方法

1 「基礎点数」

① 利用者数の増加等に関する指標（実数）の場合

$$\text{「基礎点数」} = \frac{(\text{当該年度実績値} - \text{基準年度実績})}{(\text{当該年度指標値} - \text{基準年度指標値})} \times 10$$

※小数点第2位を四捨五入。

② 利用者の満足度の向上等に関する指標（比率）の場合

$$\text{「基礎点数」} = \text{当該年度実績値} / \text{当該年度指標値} \times 10$$

※評価対象年度の実績値が目標値を上回る（達成目標が100%を超える）場合は、基礎点数は上限の10点とする。

2 「ウエイト」

大項目(1)～(4)に設定している達成目標ごとの達成効果への反映割合を設定するもので、達成目標ごとの重要度に着目してウエイトを設定することとし、大項目ごとのウエイトの合計が10分の10となるよう設定する。

3 「項目点」

項目ごとの基礎点数にウエイトを乗じて算出

$$\text{項目点} = \text{基礎点数} \times \text{ウエイト（割合）（小数点第2位四捨五入）}$$

4 「評価比率」

管理の目標全体に対する大項目ごとの達成効果への反映割合を設定するもので、項目の重要度に着目してウエイトを設定することとし、評価比率の合計が10分の10になるよう設定する。（ウエイト設定の考え方と同様）

5 「評価点」

大項目ごとに項目点の合計に評価比率を乗じて算出

$$\text{評価点} = \text{項目点の合計} \times \text{評価比率（小数点第2位を四捨五入）}$$

6 「評価点合計」及び「評価」

大項目ごとの評価点の合計数値によりランク分けしA～Eにより評価

評価点合計	評価	考 え 方
10.0～9.0点	A	目標達成に向け努力が評価できる。
8.9～8.0点	B	目標達成に対し、一定程度の努力評価ができるが、一層の努力を要する。
7.9～7.0点	C	目標達成に対し更なる努力が必要で、取組方法等の検討を要する。
6.9～5.0点	D	目標達成への課題や取組について検証を行い、取組の見直し等を要する。
4.9～0点	E	業績が著しく不良であり、道が改善指示を行う。指示等を行ってもなお、改善されない場合は、業務の全部又は一部の停止若しくは指定の取消しを行う。

7 「例外」

新規事業など前年度実績がない場合

『基礎点数』・・・目標数値に対する実績数値の割合により算出（実績数値／目標数値×10）

『項目点』・・・上記基礎点数に「ウエイト」を乗じて算出する。

8 「調整点」

目標設定時点では到底予測できなかった特殊事情のため、目標達成できなかった場合に限り、評価点を調整して加点を行う。

調整点は、不測の事態等により目標値に対する達成率が著しく低い場合に加点することとし、総合評価段階で総点数の一割程度の（1.0）を加点する。